

高等学校 令和5年度(2学年) 教科

国語

科目

古典探究

Table with 3 columns: 対象学年組 (2学年 A組~G組), 教科担当 (A組: 辻, B組: 吉田, C組: 吉田, D組: 辻, E組: 辻, F組: 辻, G組: 千葉), 使用教科書 (精選古典探究 古文編, 精選古典探究 漢文編), 科目 (国語), 単位数 (3), 目標 (知識及び技能, 思考力・判断力・表現力等, 学びに向かう力・人間性等).

Table with 3 columns: 知識及び技能, 思考力・判断力・表現力等, 学びに向かう力・人間性等. 各項目に具体的な学習目標が記載されている。

Main table with 5 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 領域 (国語), 評価標準, 知 (知識・技能), 思 (思考・判断・表現), 能 (主体的に学習に取り組む態度), 配当 (単元時間). 各単元(例: 古文・説話, 古文・歌物語, 漢文・史記)の学習内容と評価項目が詳細に記載されている。



対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

単位数： 3 単位

教科担当者： 日本史分野：三池里歩 世界史分野：瀧野勇介
使用教科書：（ 山川出版社「歴史総合 近代から現代へ」（2023年3月5日発行 岸本美穂、鈴木淳））

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解するとともに、調査や資料から情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。○

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意義、特色、相互の関連を、多面的・多角的に考察する力や、情報、情勢したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。○

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。○

科目 歴史総合

の目標：

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Each column contains detailed learning objectives for the History Integrated subject.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 態, 配当時数. It details the schedule for 1st, 2nd, and 3rd semesters, including unit goals, content, assessment standards, and class time.

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

単位数： 1 単位

教科担当者： 日本史分野：三池里歩 世界史分野：濱野勇介

使用教科書：（ 山川出版社「歴史総合 近代から現代へ」（2023年3月5日発行 岸本美緒、鈴木淳） ）

教科 地理歴史 の目標： 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解するとともに、調査や諸資料から情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。□

地理や歴史に関する事象の意義、特色、相互の関連を、多面的・多角的に考察する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。□

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。□

科目 歴史探究基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件と関連付けながら理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元						
	A 単元						
	A 単元						
	A 単元						
	A 単元						
	A 単元						
2 学期	A 単元						
	A 単元						
	A 単元						
	A 単元						
	A 単元						
	A 単元						
3 学期	A 単元	【日本史探究】【A(1)1第1章1・2節】 社会的事象の歴史のな見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。 【思考・判断・表現】 定期考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題・ノート提出、授業への参加態度等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題・ノート提出、授業への参加態度等	○	○	○	4
	A 単元	【日本史探究】【A(3)2第1節】 社会的事象の歴史のな見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。 【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題・ノート提出、授業への参加態度等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題・ノート提出、授業への参加態度等	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	合計						9

対象学年組: 第 2 学年 A 組～ G 組

単位数: 3 単位

教科担当者: (A組: 横井・信澤) (B組: 角田・信澤) (C組: 矢野・角田) (D組: 宮内・角田) (E組: 宮内・信澤) (F組: 矢野・信澤) (G組: 横井・角田)

使用教科書: (数学Ⅱ (数研出版))

教科 数学

の目標:

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第3章 図形と方程式</p> <p>【知識及び技能】 図形と方程式の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、図形と方程式の考え方を活用して事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 第2節 円 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 第3節 軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域 教科書 (数学Ⅱ (数研出版))、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B (数研出版)、サクシード 数学Ⅱ+B (数研出版) 一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【知識・技能】 ・座標平面上の円を方程式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と方程式の考え方を活用して考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え数学的論議に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○		19
<p>第4章 三角関数</p> <p>【知識及び技能】 三角関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する様々な性質について考察することができる、加法定理から新たな性質を導くことができたり、式とグラフの関係について多面的に考察することができる力、二つの量の関係の考え方を活用して事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 第1節 三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 教科書 (数学Ⅱ (数研出版))、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B (数研出版)、サクシード 数学Ⅱ+B (数研出版) 一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【知識・技能】 ・弧度法の考え方で角度を示したり、拡張された一般角で三角関数の値を表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・三角関数を単位円を用いて表現したり、既習の三角比の考え方を活用して様々な問題について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を三角関数の考え方を活用して考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え数学的論議に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>				
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第4章 三角関数</p> <p>【知識及び技能】 三角関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する様々な性質について考察することができる、加法定理から新たな性質を導くことができたり、式とグラフの関係について多面的に考察することができる力、二つの量の関係の考え方を活用して事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 第1節 三角関数 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用 第2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成 教科書 (数学Ⅱ (数研出版))、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B (数研出版)、サクシード 数学Ⅱ+B (数研出版) 一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【知識・技能】 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 ・三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を三角関数の考え方を活用して考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え数学的論議に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	15
<p>第5章 指数関数と対数関数</p> <p>【知識及び技能】 指数関数、対数関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指数関数、対数関数に関する様々な性質について考察することができる、新たな性質を導くことができたり、式とグラフの関係について多面的に考察することができる力、二つの量の関係の考え方を活用して事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 第1節 指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 教科書 (数学Ⅱ (数研出版))、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B (数研出版)、サクシード 数学Ⅱ+B (数研出版) 一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【知識・技能】 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を指数関数・対数関数の考え方を活用して考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え数学的論議に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第5章 指数関数と対数関数</p> <p>【知識及び技能】 指数関数、対数関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指数関数、対数関数に関する様々な性質について考察することができる、新たな性質を導くことができたり、式とグラフの関係について多面的に考察することができる力、二つの量の関係の考え方を活用して事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 第2節 対数関数 1. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数 教科書 (数学Ⅱ (数研出版))、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B (数研出版)、サクシード 数学Ⅱ+B (数研出版) 一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【知識・技能】 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。 ・対数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を指数関数・対数関数の考え方を活用して考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え数学的論議に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	17
<p>第6章 微分法と積分法</p>	<p>・指導事項</p>	<p>【知識・技能】</p>				

2 学 期	中間 考 査 ま で	<p>【知識及び技能】 微分法と積分法の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 微分法と積分法に関する様々な性質について考察することができ、新たな性質を導くことができたり、式とグラフの関係について多面的に考察することができる。二つの数量の関係の考え方を活用して事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>第1節 微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数 第2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと方程式・不等式</p> <p>教科書（数学Ⅱ（数研出版））、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B（数研出版）、サクシード 数学Ⅱ+B（数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。</p> <p>・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・関数とその導関数との関係について考察することができる。</p> <p>・関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求め方法について考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとする、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</p>	○	○	○	16
	A 単元	<p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	
	定期 考 査				○	○		1
期 末 考 査 ま で	第6章 微分法と積分法	<p>【知識及び技能】 微分法と積分法の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 微分法と積分法に関する様々な性質について考察することができ、新たな性質を導くことができたり、式とグラフの関係について多面的に考察することができる。二つの数量の関係の考え方を活用して事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 第3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積</p> <p>教科書（数学Ⅱ（数研出版））、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B（数研出版）、サクシード 数学Ⅱ+B（数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【知識・技能】 ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。</p> <p>・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・関数とその導関数との関係について考察することができる。</p> <p>・関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求め方法について考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとする、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</p>	○	○	○	21
	A 単元	<p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	
	定期 考 査				○	○		1
3 学 期	A 単元	<p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	
	A 単元	<p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	
	定期 考 査				○	○		
合計								
105								

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

単位数： 2 単位

教科担当者： (A組：黒崎・宮内) (B組：信澤・宮内) (C組：信澤・宮内) (D組：矢野・宮内) (E組：矢野・宮内) (F組：黒崎・宮内) (G組：松室・宮内)

使用教科書： ( 数学B(数研出版) )

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列や統計的な推測の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化する規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数			
1 学 期	<p>第1章 数列</p> <p>【知識及び技能】 数列の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 離散的な変化する規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 第1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和 3. 等比数列とその和 4. 和の記号Σ</p> <p>・教材 教科書(数学B(数研出版))、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)、サクシード 数学Ⅱ+B(数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【知識・技能】 ・等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 ・事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。 ・自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>				○	○	15	
	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>							
	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>							
	定期考査						○	○	1	
2 学 期	<p>第1章 数列</p> <p>【知識及び技能】 数列の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 離散的な変化する規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 第1節 数列とその和 5. 階差数列 6. いろいろな数列の和 第2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列 8. 数学的帰納法</p> <p>・教材 教科書(数学B(数研出版))、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)、サクシード 数学Ⅱ+B(数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【知識・技能】 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 ・漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 ・数学的帰納法について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 ・事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。 ・自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>				○	○	○	14
	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>							
	定期考査						○	○	1	
	<p>第2章 統計的な推測</p> <p>【知識及び技能】 ・統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・離散的な変化する規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	<p>・指導事項 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の変換 4. 確率変数の和と期待値</p> <p>・教材 教科書(数学B(数研出版))、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)、サクシード 数学Ⅱ+B(数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【知識・技能】 ・標本調査の考え方について理解している。 ・確率変数と確率分布について理解している。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。 ・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 ・目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測することができる。 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>				○	○	○	14
<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>								
<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>								
定期考査						○	○	1		
2 学 期	<p>第2章 統計的な推測</p> <p>【知識及び技能】 ・統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・離散的な変化する規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	<p>・指導事項 第1節 確率分布 5. 独立な確率変数と期待値・分散 6. 二項分布</p>	<p>【知識・技能】 ・標本調査の考え方について理解している。 ・確率変数と確率分布について理解している。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。</p>							
	定期考査						○	○	1	

期末 考査 まで	<p>りについて認識を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしていたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	<p>・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。</li> <li>・目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測することができる。</li> <li>・標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	14	
	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>第2章 統計的な推測</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</li> <li>・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。</li> <li>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしていたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第2節</p> <p>9. 標本平均とその分布</p> <p>10. 推定</p> <p>11. 仮説検定</p> <p>・教材</p> <p>教科書(数学B(数研出版))、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)、サクシード 数学Ⅱ+B(数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用等</p> <p>授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査の考え方について理解している。</li> <li>・確率変数と確率分布について理解している。</li> <li>・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。</li> <li>・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。</li> <li>・目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測することができる。</li> <li>・標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	
定期考査			○	○		1	
合計						74	

対象学年組: 第 1 学年 A 組～ G 組 単位数: 1 単位
教科担当者: (A組: 横井・信澤) (B組: 角田・信澤) (C組: 矢野・角田) (D組: 宮内・角田) (E組: 宮内・信澤) (F組: 矢野・信澤) (G組: 横井・角田)
使用教科書: ( 数学C(数研出版) )

教科 数学
【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】
【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】
【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Contains detailed descriptions of learning objectives and skills.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 態, 配当時間. It details the schedule for 1st and 2nd semesters, including unit goals, content, and assessment criteria.

<p>【知識及び技能】 ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>1. 空間の座標 2. 空間ベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. 座標空間における図形 教科書（数学C(数研出版)）、チャート式 基礎からの数学III+C(数研出版)、サクシード 数学III+C(数研出版) ・一人1台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。</p>	<p>・平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解している。 ・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。 ・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。 ・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>	○	○	○	17
定期考査			○	○		1
						合計
						35

対象学年組: 第 2 学年 A 組~ G 組
教科担当者: (A組: 田邊) (B組~G組: 廣瀬)
使用教科書: ( 実教出版 物理基礎 )

単位数: 2 単位

教科 理科 の目標:
【知識及び技能】 科学的知識の習得や概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得を目指す。
【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して、科学的課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけることを目指す。
【学びに向かう力、人間性等】 上記の力をを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようすることができることを目指す。

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Content describes learning objectives for each category.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 態, 配当 時数. It details the schedule for 1st and 2nd semesters, including unit goals, topics, and assessment criteria.

Summary table with columns: 合計, 58

対象学年組: 第 2 学年 A 組～ G 組

単位数: 2 単位

教科担当者: (A組: 飯島) (B組: 村澤) (C組: 村澤) (D組: 飯島) (E組: 飯島) (F組: 村澤) (G組: 村澤)

使用教科書: ( 高校生物基礎 新訂版 )

教科 理科

の目標:

【知識及び技能】

理科的なもの見方や考え方 ・自然事象に対する概念や原理・法則の体系的な理解・観察、実験、調査についての技能

【思考力、判断力、表現力等】

知識・技能を活用できる力 ・自然事象から見通しを立て課題や仮説を設定する力・観察、実験の組み立てから得られた結果を分析して解釈する力

【学びに向かう力、人間性等】

理科的なもの見方や考え方を自ら意欲的に身につけようとする力

科目 生物

の目標:

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 感 配当				
				知	思	感	時数	
1 学期	中間 1 単元 1節 生物の多様性と共通性	・生物の共通性と多様性をこの科目の導入に位置づけ、以降の学習においてこの視点を意識させて展開する。 ・様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。 ・生物が共通性を保ちながら進化多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解させる。 ・生物に共通する性質は細胞であることと理解させる。また、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。	【知識・技能】 ・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとも理解している。 【思考・判断・表現】 ・資料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 ・生物の観察からDNAを抽出する技能を習得している。【実験評価】 【思考力・判断力・表現力等】 ・資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見いだし表現することができる。 ・細胞と生物の共通点である細胞であることを、生物学的な観点から考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生物の共通性を、実験や観察を通して見だし、理解しようとする。 ・原核細胞と真核細胞を基に、違いを理解しようとする。 【期間評価・授業態度】	○	○	○	6	
	2節 細胞とエネルギー	・時間があがる場合は、酵素の基質特異性や最適条件、呼吸や光合成の反応の過程などにも触れる。 ・時間があがる場合は、細胞の共通性と関連して、呼吸や光合成が行われる細胞小器官の起源についても触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・生物の共通性に由来するエネルギー、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生物学的に行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・呼吸や光合成に由来するエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 ・カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係を明らかにすることができると理解している。 【実験評価・授業態度】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて、生物学的にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得られていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。 【期間評価・授業態度】	○	○	○	6	
	A 単元 1節 遺伝情報とDNA	・時間があがる場合は、DNAの分子構造や、染色体の構造についても触れる。 ・体細胞分裂の過程については、中学でも学習していることに留意する。 ・時間があれば、減数分裂時のDNA量の変化を体細胞分裂と比較して、違いを理解させる。 ・DNA複製の過程についても理解させる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解させる。 ・DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解させる。 ・DNAが体細胞分裂の際に複製されることと均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解させる。	【知識・技能】 ・DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解している。 ・DNA、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・資料に基づいて、DNA複製の過程を科学的に思いだすことができる。 ・DNA複製を基盤として関連付けて理解することができる。 【実験評価・授業態度】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係を理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係を理解しようとする。 【期間評価・授業態度】	○	○	○	6
	定期 1 単元 1節 遺伝情報とタンパク質の合成	・時間があがる場合は、アミノ酸の構造やタンパク質の立体構造についても触れる。 ・転写、翻訳の過程の詳細について、必要であれば触れる。また、その際、トリプレットとコードの関係についても触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・DNAの複製からタンパク質が合成されることを理解している。 ・タンパク質の合成は、転写、翻訳の過程を経て行われることを理解している。 ・タンパク質の合成は、遺伝情報に基づいて行われることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・タンパク質の合成は、遺伝情報に基づいて行われることを理解している。 ・タンパク質の合成は、遺伝情報に基づいて行われることを理解している。 【実験評価・授業態度】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・タンパク質の合成は、遺伝情報に基づいて行われることを理解しようとする。 ・タンパク質の合成は、遺伝情報に基づいて行われることを理解しようとする。 【期間評価・授業態度】	○	○	○	1	
2 学期	中間 2 単元 1節 体内環境の維持のしくみ	・体液中の成分や血漿濃度、血漿浸透圧に触れる。 ・腎臓の濾過調節や老廃物除去に関わり、肝臓の機能が体液調節に関与することにも触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・体液中の成分や血漿濃度、血漿浸透圧に理解している。 ・腎臓の濾過調節や老廃物除去に関わり、肝臓の機能が体液調節に関与することにも理解している。 【思考・判断・表現】 ・腎臓の濾過調節や老廃物除去に関わり、肝臓の機能が体液調節に関与することにも理解している。 【実験評価・授業態度】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・腎臓の濾過調節や老廃物除去に関わり、肝臓の機能が体液調節に関与することにも理解しようとする。 ・腎臓の濾過調節や老廃物除去に関わり、肝臓の機能が体液調節に関与することにも理解しようとする。 【期間評価・授業態度】	○	○	○	5	
	2節 体内環境の維持のしくみ	・神経系については、中枢神経系と末梢神経系に分けられることを扱い、脳幹の働きに関連して脳についても触れる。 ・内分泌系については、血液中に分泌されるホルモンの調節的機能を理解させる。 ・神経系に比べて内分泌系は調節が行われることに触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・神経系については、中枢神経系と末梢神経系に分けられることを扱い、脳幹の働きに関連して脳についても触れる。 ・内分泌系については、血液中に分泌されるホルモンの調節的機能を理解している。 ・神経系に比べて内分泌系は調節が行われることに触れる。 【思考・判断・表現】 ・神経系に比べて内分泌系は調節が行われることに触れる。 【実験評価・授業態度】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・神経系に比べて内分泌系は調節が行われることに触れる。 ・神経系に比べて内分泌系は調節が行われることに触れる。 【期間評価・授業態度】	○	○	○	5	
	A 単元 1節 免疫のしくみ	・二次応答における記憶細胞の存在や、予防接種などの医療利用についても取り上げる。 ・身近な疾患として花粉症やエイズなどを取り上げる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・二次応答における記憶細胞の存在や、予防接種などの医療利用についても理解している。 ・身近な疾患として花粉症やエイズなどを取り上げている。 【思考・判断・表現】 ・二次応答における記憶細胞の存在や、予防接種などの医療利用についても理解している。 ・身近な疾患として花粉症やエイズなどを取り上げている。 【実験評価・授業態度】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二次応答における記憶細胞の存在や、予防接種などの医療利用についても理解しようとする。 ・身近な疾患として花粉症やエイズなどを取り上げようとする。 【期間評価・授業態度】	○	○	○	5	
	定期 1 単元 1節 免疫のしくみ	・二次応答と一次応答の違いを理解させ、同じ疾患に	【知識・技能】 ・二次応答と一次応答の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・二次応答と一次応答の違いを理解している。 【実験評価・授業態度】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二次応答と一次応答の違いを理解しようとする。 【期間評価・授業態度】	○	○	○	1	
3 学期	中間 3 単元 1節 生物の多様性と生態系	・生物の多様性と生態系の関係性を理解させる。 ・生物は環境からの影響を受けながら存在し、生態系には多様な生物が存在することを理解させる。 ・陸上には、草原や森林などのさまざまな植生があることを理解させる。 ・植生は不変ではなく、光の量や降水量をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解させる。 ・環境形成作用により植生が形成されることを理解させる。 ・植生内の光環境の変化や土壌の発達によって遷移が進行することを理解させる。	【知識・技能】 ・生物の多様性と生態系の関係性を理解している。 ・生物は環境からの影響を受けながら存在し、生態系には多様な生物が存在することを理解している。 ・陸上には、草原や森林などのさまざまな植生があることを理解している。 ・植生は不変ではなく、光の量や降水量をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解している。 ・環境形成作用により植生が形成されることを理解している。 ・植生内の光環境の変化や土壌の発達によって遷移が進行することを理解している。	○	○	○	5	
	2節 気候と降水量の違い	・気候と降水量の違いにより、地球上には多くのバイオームが成立していることを理解させる。 ・遷移の結果として森林・草原・荒原のバイオームとなることを理解させる。 ・バイオームの構成要素である植物種を取り上げ、その場所の気候や降水量に適合していることを理解させる。 ・日本のバイオームについても、その構成種とも理解させる。	【知識・技能】 ・気候と降水量の違いにより、地球上には多くのバイオームが成立していることを理解している。 ・遷移の結果として森林・草原・荒原のバイオームとなることを理解している。 ・バイオームの構成要素である植物種を取り上げ、その場所の気候や降水量に適合していることを理解している。 ・日本のバイオームについても、その構成種とも理解している。	○	○	○	6	
	A 単元 1節 生物の多様性と生態系	・生物の多様性について理解させる。 ・生物の多様性と生態系の関係性を理解させる。 ・捕食による物質とエネルギーが移動することを理解させる。 ・生態系のバランスと、人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について理解させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。	【知識・技能】 ・生物の多様性について理解している。 ・生物の多様性と生態系の関係性を理解している。 ・捕食による物質とエネルギーが移動することを理解している。 ・生態系のバランスと、人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解している。 ・生態系の保全の重要性について理解している。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てている。	○	○	○	18	
	定期 1 単元 1節 生物の多様性と生態系	・生物の多様性について理解させる。 ・生物の多様性と生態系の関係性を理解させる。 ・捕食による物質とエネルギーが移動することを理解させる。 ・生態系のバランスと、人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について理解させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。	【知識・技能】 ・生物の多様性について理解している。 ・生物の多様性と生態系の関係性を理解している。 ・捕食による物質とエネルギーが移動することを理解している。 ・生態系のバランスと、人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解している。 ・生態系の保全の重要性について理解している。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てている。	○	○	○	1	
				合計				73

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

単位数： 1 単位

教科担当者： (BEF組：西本) (ACDG組：伊藤)

使用教科書： (数研出版)

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】

科学的知識の習得や概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得。

【思考力、判断力、表現力等】

習得した「知識・技能」を活用して、科学的課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につける。

【学びに向かう力、人間性等】

上記の力を身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができるようになる。

科目 化学特論

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究できるようにする。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとするができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	電池 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事象・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	・ボルタ電池 ・ダニエル電池 ・鉛蓄電池 ・燃料電池 ・実用電池（リチウムイオン電池ほか）	【知識・技能】本章で学ぶ事項について、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について、問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について、主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。また、粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	4	
	電気分解 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事象・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	・さまざまな溶液の電気分解 ・ファラデーの法則	【知識・技能】本章で学ぶ事項について、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について、問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について、主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。また、粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	4	
	定期考査	なし		○	○			
期 末 考 査 ま で	脂肪族炭化水素 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事象・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	・炭素と水素から成る化合物 ・アルカン、アルケン、アルキン	【知識・技能】本章で学ぶ事項について、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について、問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について、主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。また、粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	4	
	定期考査	電池・電気分解・有機化合物		○	○			
	2 学期	酸素を含む脂肪族① 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事象・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	・アルコール ・エーテル ・アルデヒド ・ケトン	【知識・技能】本章で学ぶ事項について、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について、問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について、主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。また、粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	4
中 間 考 査 ま で	酸素を含む脂肪族② 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事象・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	・カルボン酸 ・油脂 ・セッケン ・合成洗剤	【知識・技能】本章で学ぶ事項について、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について、問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について、主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。また、粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	4	
定期考査	なし							
期 末 考 査 ま で	芳香族化合物① 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事象・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	・ベンゼン ・芳香族炭化水素 ・フェノール類	【知識・技能】本章で学ぶ事項について、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について、問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について、主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。また、粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	6	
	定期考査	電池・電気分解・有機化合物		○	○			
	3 学期	芳香族化合物② 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事象・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	・芳香族カルボン酸 ・芳香族アミン ・有機化合物の分離	【知識・技能】本章で学ぶ事項について、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について、問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について、主体的に関わり、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。また、粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	9
定期考査	電池・電気分解・有機化合物		○	○				
							合計	35

高等学校 令和5年度（2学年）教科

保健体育

科目

体育（男子）

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

単位数： 3 単位

教科担当者： (A・B組：荻輪・柳屋・渡辺) (C・D組：荻輪・柳屋・渡辺) (E・F組：荻輪・柳屋・渡辺) (G組：荻輪・高師・成田)

使用教科書： ( 現代高等保健体育 )

教科 保健体育 の目標：  
 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、校正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全をかくほして、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション	体育の授業の進め方	プリント提出		○	○	1
体づくり運動 【知識及び技能】 体づくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 体づくり運動のおこない方を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えたことができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できたか。	○	○	○	3
体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	3
バレーボール 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができたか。	○	○	○	10
バスケットボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防をできるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防ができた。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができた。	○	○	○	10
定期考査						

2 学 期	期末 考 査 ま で	水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとしたか。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあえたか。	○	○	○	12
	定期 考 査							
3 学 期	中 間 考 査 ま で	テニス 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むことができた。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあうことができた。	○	○	○	12
	期 末 考 査 ま で	フットボール 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	12
	定期 考 査							
	期 末 考 査 ま で	バドミントン 【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組めたか。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすることができたか。	○	○	○	12
3 学 期	期 末 考 査 ま で	フットボール 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	12
	定期 考 査							
	サ ッ カ ー	サッカー 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができたか。 【思考・判断・表現】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができたか。	○	○	○	13
持 久 走	持久走 【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振り返ることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組むことができた。	○	○	○	5	
定期 考 査								
合計								
105								

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組 単位数： 3 単位  
 教科担当者： (A・B組： 斎輪・柳屋・渡辺) (C・D組： 斎輪・柳屋・渡辺) (E・F組： 斎輪・柳屋・渡辺) (G組： 斎輪・高師・成田)  
 使用教科書： ( 現代高等保健体育 )

教科 保健体育 の目標：  
 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の社会的課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目	体育（女子）	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、校正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全をかくほして、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション	体育の授業の進め方	プリント提出		○	○	1
	体づくり運動 【知識及び技能】 体づくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 体づくり運動のおこない方を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えたことができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できたか。	○	○	○	3
	体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的發展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に主体的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的發展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に主体的に取り組めたか。	○	○	○	3
	サッカー 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができたか。 【思考・判断・表現】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができたか。	○	○	○	10
	ソフトボール 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	10
	定期考査						
	水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとしたか。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあえたか。	○	○	○	12
	定期考査						
	バレーボール 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができたか。	○	○	○	12
	バドミントン 【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに果敢に継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに果敢に継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組めたか。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすることができたか。	○	○	○	12
定期考査							

学期 期末 調査 まで	<p>バレーボール</p> <p>【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	12
	<p>テニス</p> <p>【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をする。 【思考力、判断力、表現力等】 生活にわたって運動を豊かに果敢に継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	12
定期調査							
3 学期	<p>バスケットボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防をできるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	13
	<p>持久走</p> <p>【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。</p>	○	○	○	5
定期調査							

合計  
105

高等学校 令和5年度（2学年） 教科

保健体育

科目

保健

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組  
 教科担当者： (A・F組：渡辺 ) (B・D・E組：養輪 ) (C・G組：高師 )  
 使用教科書： ( 現代高等保健体育 副教材：図説現代高等保健 )  
 教科 保健体育 の目標：  
 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単位数： 1 単位

科目 保健	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけようとする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他社に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 中間 考査 まで	オリエンテーション	保健の授業の進め方	【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	生涯を通じる健康 ① ライフステージと健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージと健康の関連について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができ、ノートやプリントにまとめることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 生涯を通じる健康について理解を深めることができたか。 【思考・判断・表現】 ライフステージと健康の関連について説明できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができ、ノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	1
	生涯を通じる健康 ② 思春期と健康 【知識及び技能】 思春期における体の変化を女性と男性に分けて説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について 例をあげることができ、ノートやプリントにまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について 例をあげることができ、ノートやプリントにまとめることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 思春期における体の変化を女性と男性に分けて説明できる。 【思考・判断・表現】 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について 例をあげることができ、ノートやプリントにまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	生涯を通じる健康 ③ 性意識と性行動の選択 【知識及び技能】 思春期における性意識の男女差を理解し、男女の異なる行動が異なることを理解する。 【思考・判断・表現】 性意識の男女差について例をあげて説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 性情報に性行動の選択に影響を及ぼす例をあげ、ノートやプリントにまとめることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 思春期における性意識の男女差を理解し、男女の異なる行動が異なることを理解できたか。 【思考・判断・表現】 性意識の男女差について例をあげて説明できたか。 【学びに向かう力・人間性等】 性情報に性行動の選択に影響を及ぼす例をあげ、ノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	1
	生涯を通じる健康 ④ 妊娠・出産と健康 ① 【知識及び技能】 妊娠・出産にかかわる健康課題を理解することができる。 【思考・判断・表現】 妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 妊娠・出産に活用できる母子保健サービスの例をあげ、ノートやプリントにまとめることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 妊娠・出産の過程における健康課題について理解できたか。 【思考・判断・表現】 妊娠・出産における健康課題について説明できたか。 【学びに向かう力・人間性等】 妊娠・出産に活用できる母子保健サービスの例をあげることができたか。	○	○	○	1
1 学期	定期考査						
1 学期 末 考査 まで	生涯を通じる健康 ② 妊娠・出産と健康 ② 【知識及び技能】 妊娠・出産にかかわる健康課題を理解することができる。 【思考・判断・表現】 妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 妊娠・出産に活用できる母子保健サービスの例をあげ、ノートやプリントにまとめることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 妊娠・出産の過程における健康課題について理解できたか。 【思考・判断・表現】 妊娠・出産における健康課題について説明できたか。 【学びに向かう力・人間性等】 妊娠・出産に活用できる母子保健サービスの例をあげることができたか。	○	○	○	1
	生涯を通じる健康 ③ 避妊法と人工妊娠中絶 ① 【知識及び技能】 家族計画の意義と適切な避妊法について理解することができる。 【思考・判断・表現】 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明ができ、ノートやプリントにまとめることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 家族計画の意義と適切な避妊法について理解できたか。 【思考・判断・表現】 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できたか。 【学びに向かう力・人間性等】 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明ができ、ノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	1
	生涯を通じる健康 ④ 避妊法と人工妊娠中絶 ② 【知識及び技能】 家族計画の意義と適切な避妊法について理解することができる。 【思考・判断・表現】 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明ができ、ノートやプリントにまとめることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 家族計画の意義と適切な避妊法について理解できたか。 【思考・判断・表現】 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できたか。 【学びに向かう力・人間性等】 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明ができ、ノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	1
	生涯を通じる健康 ⑤ 結婚生活と健康 【知識及び技能】 心身の発達と結婚生活の関係について理解できる。 【思考・判断・表現】 心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができ、ノートやプリントにまとめることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 心身の発達と結婚生活の関係について理解できたか。 【思考・判断・表現】 心身の発達と結婚生活の関係について説明できたか。 【学びに向かう力・人間性等】 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができ、ノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	1
	定期考査						1



対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

単位数： 4 単位

教科担当者： (B, C, D組: 工藤尚子) (A, F, G: 長美美弥子 簡井玲衣子 (E組: ))

使用教科書： (CROWN English CommunicationII, Cutting Edge Green, Leap, All Ears, Rapid Reading Level 2.3, 副読本)

教科 外国語

【知識及び技能】

言語や文化に対する理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】

情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

科目 English Communication II

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
進出単語、熟語、重要表現、関連表現、文法を理解し、本文の内容を正確に読み取り、聞き取る。	本文の内容の要約、本文に関連したテーマについて読んだり、書いたりする。本文の内容に関する自分の意見を表現できる。	外国語の文化背景を積極的に理解し表現しようとする。学習に見通しを持ち学ぼうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話(や)	話(発)	書					
1 学期	中間 考査 まで	A 単元 CROWN Lesson 1, 2 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 Crown Lesson 1-2 【単語】 Leap#1-241 【リスニング】 All Ears Lesson 1-4 【速読】 Rapid Reading Lesson 1-5	○	○	○	○	○	○	○	○	15
		A 単元 Cutting Edge Unit 1, 2 【知識及び技能】 難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学	【読解】 Cutting Edge Unit 1-2 ・一人1台端末の活用 外国人講師によるプレゼンテーション、クイズの参加等	○	○	○	○	○	○	○	○	3
		副読本 The Wizard of Oz 【知識及び技能】 本文の英語を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	・物語文を理解できる ・The Norwood Mystery ・一人1台端末の活用 等									○
	定期考査		中間考査	○	○				○	○		1
	期末 考査 まで	A 単元 CROWN Lesson 3, 4 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 Crown Lesson 3-4 【単語】 Leap#242-400 【リスニング】 All Ears Lesson 5-8 【速読】 Rapid Reading lesson 6-12	○	○	○	○	○	○	○	○	15
		A 単元 Cutting Edge Unit 3, 4 【知識及び技能】 難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学	・指導事項 All English で難易度の高いの説明、物語などを読んで、情報、考えなど理解し、概要、要点を伝え聞き手に伝わるよう音読する。 ・教材 Cutting Edge ・一人1台端末の活用 外国人講師によるプレゼンテーション、クイズの参加等	○	○	○	○	○	○	○	○	3
定期考査			期末考査	○	○				○	○		1
2 学期	中間 考査 まで	A 単元 CROWN Lesson 5, 6 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 Crown Lesson 5-6 【単語】 Leap#721-920 【リスニング】 All Ears Lesson 9-12 【速読】 Rapid Reading lesson 13-18	○	○	○	○	○	○	○	○	15
		A 単元Cutting Edge Unit 8, 9 【知識及び技能】 難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学	・指導事項 All English で難易度の高いの説明、物語などを読んで、情報、考えなど理解し、概要、要点を伝え聞き手に伝わるよう音読する。 ・教材 Cutting Edge ・一人1台端末の活用 外国人講師によるプレゼンテーション、クイズの参加等	○	○	○	○	○	○	○	○	5
		A 単元 副読本 (検討中) 【知識及び技能】 本文の英語を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	・指導事項 副読本を自力で読む ・教材 検討中 ・一人1台端末の活用 等									○
	定期考査			○	○				○	○		1
	期末 考査 まで	A 単元 CROWN Lesson 7, 6 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 Crown Lesson 7-8 【単語】 Leap#921-1115 【リスニング】 All Ears Lesson 13-16 【速読】 Rapid Reading lesson 19-23	○	○	○	○	○	○	○	○	15
		A 単元Cutting Edge Unit 7, 8 【知識及び技能】 難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学	・指導事項 All English で難易度の高いの説明、物語などを読んで、情報、考えなど理解し、概要、要点を伝え聞き手に伝わるよう音読する。 ・教材 Cutting Edge ・一人1台端末の活用 外国人講師によるプレゼンテーション、クイズの参加等	○	○	○	○	○	○	○	○	5
定期考査				○	○				○	○		1
3 学期	定期考査	A 単元 CROWN Lesson9,10 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整し	【読解】 Crown Lesson 9-10 【単語】 Leap#1401-1731 【リスニング】 All Ears Lesson 17-20 共通テスト対策リスニング教材導入予定 【速読】 Rapid Reading lesson Level 3 1-5	○	○	○	○	○	○	○	○	22
		A 単元Cutting Edge Unit9,10 【知識及び技能】 難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学	・指導事項 All English で難易度の高いの説明、物語などを読んで、情報、考えなど理解し、概要、要点を伝え聞き手に伝わるよう音読する。 ・教材 Cutting Edge ・一人1台端末の活用 外国人講師によるプレゼンテーション、クイズの参加等	○	○	○	○	○	○	○	6	
		定期考査			○	○				○	○	

対象学年組: 第 2 学年 A 組～ G 組
教科担当者: (A, D, F組: 宮崎幸子) (E 組: 長美美弥子) (B, C, G組: 筒井玲衣子)
使用教科書: (EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced)

単位数: 2 単位

教科 外国語

の目標:

【知識及び技能】

外国語の音声や聴覚、表現、文法、言語の働きなどの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

場面や状況などに応じて様々な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり表現したり伝え合ったりする。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の情景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自発的にコミュニケーションをとうとする。

科目 論理・表現Ⅱ

の目標:

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Each column contains detailed learning objectives for the course.

Main course schedule table with columns for Unit, Lesson, Topic, Content, and Assessment. It details the progression of lessons 1 through 5 for each semester, including specific topics like main clauses, adjectives, adverbs, and sentence structures.

対象学年組: 第 2 学年 A 組～ G 組

単位数: 2 単位

教科担当: 全組: 林田加代子、三野直子
使用教科書: ( 家基705家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版) )

教科 家庭科

の目標:

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

家庭地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通じて生活の課題を解決する力を養う。

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎

の目標:

【学びに向かう力、人間性等】

Table with 4 columns: 人々の生活と家族、家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活の主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに... 家庭地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通じて生活の課題を解決する力を養う。 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 意, 配当時数. Rows include: 生涯の生活設計 (個人), 青年期の自立と家族・家庭, 生活における経済の計画, 衣生活と健康, 消費行動と意思決定, 共生社会と福祉, 高齢者の生活と福祉, 食生活と健康, 子供の生活と保育, 住生活と住環境.

Summary table with 2 columns: 合計, 70

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組 単位数： 1 単位
教科担当者： (A組：吉田) (B組：林田) (C組：辻) (D組：義輪) (E組：宮内) (F組：濱野) (G組：長美)
使用教科書： (なし)

教科 総合的な探究の時間
【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】
の目標：
生徒各自が選んだテーマに関する学習活動の過程を通して、身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、テーマの探究に必要な知識・技能を身につける。

Table with 3 columns: 知識及び技能, 思考力、判断力、表現力等, 学びに向かう力、人間性等. Rows describe learning activities and goals for each skill area.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 意, 配当時数. Rows are organized by semester (1学期, 2学期, 3学期) and assessment type (中間, 期末, 定期).